

# 久留米工大教育棟が完成

落成式 鉄骨9階建て「100号館」



完成した100号館

久留米工業大（今泉勝己学長）が創立50周年を記念して建設した教育棟の落成式が29日、久留米市上津町

の同大で開かれ、大学関係者ら約120人が新たな学びの完成を祝った。

同大によると、新棟は鉄骨造り9階建て約7400平方メートル。「100年先の未来に向けた新棟」という意味を込め、「100号館（テクノみらい館）」と命名した。学部と大学院の授業がここで行われ、地域住民や企業との交流を促進する「地域連携・交流センター」や、一般市民も利用できるカフェとレストランなどを備えている。

落成式で、同大の吉武健一理事長は「学生のキャリアアップに向けた取り組み

を万全の体制でサポートできる。地域社会に有為な人材を送り出したい」とあいさつした。